

2022年5月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	1,995,283	320,915	621.7%	26,822,730	7.4%
国内旅行	2,709,334	771,748	351.1%	4,582,320	59.1%
訪日旅行	35,840	2,885	1,242.3%	2,818,348	1.3%
合 計	4,740,457	1,095,548	432.7%	34,223,398	13.9%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデーtravel、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

日本における入国時の待機免除、感染症危険情報レベルの引き下げといった外部環境を受けて、HIS 現地法人による安全確認と受け入れ体制が整ったことを踏まえて、5月1日出発よりハワイツアーを皮切りに、パッケージツアーを順次再開しております。また、自社運営による PCR 検査サービスや感染リスクに対応した保険をパッケージに組み込んだプランを設けると共に、出発から帰国まで、誰もが安心して行ける旅をサポートする9つのサービス「RE:TRAVEL SUPPORT」の提供を開始するなど、海外旅行の需要喚起に努めました。

東南アジア・ヨーロッパ・北米を中心とした手配旅行が牽引し、前年同月比より高い伸びを示したものの、日本における一日あたりの入国者数の制限が続いており2019年同月比においては、まだ本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年同月比 621.7%、2019年同月比 7.4%の 19 億 9,528 万円となりました。

2. 国内旅行

国の観光支援事業である「県民割」が地域ブロックに対象拡大しており、マイクロツーリズムであるバスツアーの需要の創出を図るべく、地域ブロック内でバスツアーの発着地を増やしたことにより、関東地域を中心に旅行者数の伸びがみられました。航空機を利用したツアーでは、3月中旬から行っている「沖縄 LeaLea キャンペーン」が5月出発にも効果をもたらしており、方面シェアの一番高い沖縄の送客が、前年比で 2 倍以上と大きく伸びたことにより取扱高を押し上げました。また、季節の花をテーマにしたイベントが好調のハウステンボスを中心に、九州方面の送客が、前年同月比 3.6 倍、グリーンシーズンに突入した北海道への送客が、前年同月比 4.2 倍に伸びしており、初夏に入り自然・景観が魅力的な方面の人気が見られました。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年同月比 351.1%、2019年同月比 59.1%の 27 億 933 万円となりました。

3. 訪日旅行

106の国と地域からの上陸拒否の対象が解除されたものの、観光目的の新規入国は認められていない状況が続いていることにより、需要の戻りには至っておらず、訪日旅行の取扱高は、前年同月比 1,242.3%、2019年同月比 1.3%の 3,584 万円となりました。

以上の結果、2022年5月の取扱高総計は、前年同月比 432.7%、2019年同月比 13.9%の 47 億 4,045 万円となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177